



ライブラリー

神石小学校 図書だより

平成29年6月号

親子読書の取り組み ありがとうございます！

おいそがしい中、親子読書の取り組み、ありがとうございました。感想から、楽しんで取り組んでくださったと感じました。ご協力ありがとうございました。



☆親子読書の児童の感想より

○「げんきにおはよう」

ママがよんでくれたし、わたしがママによんであげたのでよかったです。

(1年生 女子)

○「おべんとうなあに？」

ぼくは、そうくんのおべんとうがなくなったとき、りすちゃんときつねくんとうさぎくんが、おべんとうをさがしたのがいいとおもいました。

(2年生 男子)

○「おかあさんがおばけになっちゃった」

わたしのおかあさんがもしいなくなったら、わたしは一日中かなしくてなくと思います。そんなことがないようにいつもお母さんとられるじかんを大切にしようこの本を読んで思いました。

(3年 女子)

○「世界中に広まったおすし屋さんの発明」

昭和33年に大阪にオープンしたはじめての回転ずしが、日本から海外へと広がっているのは、「白石義明」さんの発明があるからで、世界のいろんなところでおすしが食べられるので、すごい発明家なんだと思いました。

(4年 女子)

○「はなちゃんのみそ汁」

「はな」が5さいの時に母さんが亡くなったが、5さいの間のみそ汁の作り方を教えてもらって、いまも5時に起きてみそ汁をつくったり、せたくものをたんだりしているからすごいと思った。

(5年 男子)

○「きまぐれロボット」

絵が時々出ていて、読みやすいし、一話ずつの物語が大変面白いです。子どもだけじゃなく、大人でもとても楽しめる本です。

(6年 男子)